

令和7年度全国国民健康保険診療施設協議会事業報告

全国国民健康保険診療施設協議会（略称「国診協」）は、国民健康保険法に基づいて設置される国民健康保険診療施設（国保直診）の管理者たる医師・歯科医師を会員とし、国保直診の多くが立地している離島・へき地・中山間地域における保健・医療・介護・福祉の連携統合を図り、超高齢社会に対応する地域包括医療・ケアの充実強化と地域包括ケアシステムの構築を目的として、全国国保地域医療学会を開催するほか、種々の事業を積極的に実施しているところである。

高齢化が進む日本では、持続可能な社会保障制度の確立を図ることを目的とした社会保障・税一体改革の推進のため、平成25年12月に「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律（いわゆるプログラム法）」を成立させ、平成26年6月には「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律（医療介護総合確保推進法）」が公布された。その概要は1. 新たな基金の創設と医療・介護の連携強化、2. 地域における効率的かつ効果的な医療提供体制の確保、3. 地域包括ケアシステムの構築と費用負担の公平化などである。この法律改正で「地域包括ケアシステム」が規定されたことにより、超高齢社会が進む日本ではこのシステムが必要不可欠であるということが示された。

国保直診では昭和40年代後半から先進的に地域包括医療・ケアの推進に取り組み、在宅医療を含む地域医療を支えてきた。国診協では昭和59年に「地域包括医療・ケア」の理念を明文化し全国的に展開してきた。「地域包括ケア」が法律上位置付けられたことは、国診協の取組が最も先進的であることの証であり、国保直診の誇りであるとともに国診協運営の絶対的基盤であるといっても過言ではない。国診協では、将来に向けて持続可能な地域包括医療・ケアシステムを構築し実践するための「国保直診のありたい姿」を検討・策定し令和6年3月に会員施設等に公表した。今年度も「地域包括医療・ケア」推進のフロントランナーとして全国各地域で活動するとともに、「国保直診のありたい姿」実現に向けての取り組みを行っていく。

平成31年4月には厚生労働省社会保障審議会で「2040年を展望した医療提供体制の改革について」が提示された。その中で「地域医療構想の実現」「医師・医療従事者の働き方改革」「実効性のある医師偏在対策」を三位一体で推進することが示された。その後、地域医療構想の実現に関しては令和元年9月に厚生労働省が、公立・公的医療機関等の具体的対応の「再検証」を要請する病院名を公表（本会会員施設の半数が対象とされた）するなどの進め方に対して直ちに意見を提出した。またコロナ禍で中止されていた各地域での協議も令和6年度からは再開され、今年度も地域医療構想やかかりつけ医機能等について議論した。会員施設がそれぞれの立ち位置を明確にし、適切に地域医療構想に対応することを期待する。また、国では地域間の医師偏在の解消を図るため「医療法及び医師法の一部を改正する法律」（平成30年7月25日公布）を制定した。多くの国保直診が所在する地域では医師不足が続いている現状にある。そのような地域では「総合診療医」の必要性が増しているものと考えられる。国診協では地域医療を守る病院協議会とともに「日本地域医療学会」運営に参画し「地域総合診療専門医」育成を通じて医師偏在解消の一翼を担っていきたい。

平成30年度から国民健康保険制度改革が行われ、都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等の国保運営に中心的な役割を担い、制度の安定化を図るなどの措置が講じられた。これまで国保直診が自治体とともに地域住民の予防・健康づくり事業を展開してきたが、それらの事業は新たに創設された保険者支援事業として新しい国保制度に受け継がれ、国保直診の益々の活躍が期待されている。さらにはオンライン資格確認導

入やマイナ保険証利用促進、国保データベース（KDB）の有効活用においても国保直診としての取り組みを推進したい。

令和6年4月には「医師の働き方改革」「第8次医療計画」がスタートし「診療報酬・介護報酬・障害者総合支援法報酬のトリプル改定」も行われた。さらには「医療DXの推進」も加速していると思われる。国診協では令和5年度に会員施設に実施した調査結果をもとに「医師の働き方改革の現状報告」「医療DXの現状と課題」の二つの報告書をまとめ公表した。また、令和6年度には診療報酬改定の影響調査を会員施設に実施し、その調査結果を基に要望事項を分析し令和7年4月に「令和8年度診療報酬改定に向けての要望書」を厚生労働省に提出した。令和7年度においては会員施設に対し国の動向に関する情報提供に努めるとともに、令和6年12月に厚生労働省が提示した「医師偏在の是正に向けた対策パッケージ」に対する意見収集を会員施設等に行い、その結果を取り纏め「医師偏在是正対策に関する意見」として令和7年5月に厚生労働省に提出し、離島・へき地・中山間地域等医師不足に直面している国保直診の立場から意見を述べた。令和8年度においても国保直診が直面する課題を整理し、会員施設に対し実態調査を行いながらその結果に基づいた意見書の提出や必要に応じて要望活動等を実施していきたい。また、令和8年度診療報酬改定の影響調査を行うとともに「令和10年度診療報酬改定に向けての要望書」提出のための準備を進めて行くこととする。

令和6年1月1日に能登半島地震が発生し石川県の多くの会員施設が大きな被害を受けた。今後全国各地域で災害が発生することが考えられることから、国診協としての災害発生時の支援の在り方、国保直診における事業継続計画（BCP）策定等について、会員施設向けに令和7年10月31日に「国保直診における事業継続計画（BCP）セミナー」を開催した。令和8年度も引き続き検討等を行っていくこととする。

新型コロナウイルス感染症が感染法上「2類相当」から「5類」へ移行したがこの感染症が終息したわけではなく、令和6年度、7年度は引き続き感染対策に留意しながら主要事業を実施した。国診協運営に関して、この間物価上昇等の影響をはじめ厳しい状況にあった。令和8年度もこの傾向は続くものと思われるが、一層の効率的な事業運営並びに経費の見直し等を実施し、引き続き財政基盤の安定と公益社団法人としてのガバナンス強化に向けて取り組んでいくこととする。

令和7年度においては、国、国民健康保険中央会、都道府県国民健康保険団体連合会、平成29年9月に設立した地域医療を守る病院協議会構成団体（いわゆる6病協）、及び令和3年10月に設立した日本地域医療学会、並びにその他関係団体と一層緊密な連携を図りながら、次の事業を実施した。

令和7年度事業実施結果は以下のとおりである。

1 組織（令和8年3月31日現在）

(1) 会員 791名

(2) 役員

会 長 1名（定員1名）

副 会 長 3名（定員3名以内）

常務理事 8名（定員8名以内）

理 事 37名（定員20名以上40名以内 会長、副会長、常務理事を含む）

監 事 2名（定員2名以内）

2 総会等の開催状況

(1) 社員総会 1回

① 社員総会

- 1) 期日 令和7年6月20日(金)
- 2) 会場 オンライン開催(拠点:公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会事務局会議室:東京都港区芝大門2-6-6)開催
- 3) 主要議題(報告事項)
 - 令和6年度事業報告について(決議事項)
 - 理事の選任について
 - 令和6年度収支決算について

(2) 理事会 開催回数3回

① 理事会(事業報告、決算等)

- 1) 期日 令和7年5月23日(金)
- 2) 会場 オンライン開催(拠点:公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会事務局会議室:東京都港区芝大門2-6-6)開催
- 3) 主要議題(報告事項)
 - 理事の辞任について
 - 役員の職務執行状況について
 - 令和6年度収支予算補正について(決議事項)
 - 令和6年度事業報告について
 - 令和6年度収支決算について
 - 公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会 理事及び監事の選任に関する規程の一部変更について
 - 理事の推薦について
 - 地域包括ケアシステム推進功績者及び国診協事業推進者表彰の各表彰者について
 - 全国国保地域医療学会優秀研究表彰の表彰者について
 - 定時社員総会の招集について

② 理事会(臨時)

- 1) 期日 令和7年9月5日(金)
- 2) 会場 オンライン開催(拠点:公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会事務局会議室:東京都港区芝大門2-6-6)開催
- 3) 主要議題(決議事項)
 - 全国国保地域医療学会の座長指名について
 - 離島等における輸血療法に関する学会等の連携について

③ 理事会(事業計画、予算等)

- 1) 期日 令和8年2月20日(金)
- 2) 会場 富士ソフトアキバプラザセミナールーム1、オンライン併用開催
- 3) 主要議題(報告事項)

任期途中での理事の辞任について
役員の職務執行状況報告について
第65回全国国保地域医療学会「和歌山県開催」について
(決議事項)

令和8年度事業計画について
令和8年度収支予算について
会長専決事項委任及び一時借入金について
職員給与規程の一部変更について

(3) 国診協開設者委員会・都道府県国診協開設者協議会会長等合同会議

- ① 期日 令和7年10月3日(金)
- ② 会場 第3会場「和歌山城ホール4階 会議室1」(和歌山県和歌山市)
- ③ 主要議事 「～人口減少地域の生活を守る～都市部の未来は今の地方にある～

(4) 国診協都道府県協議会会長・協議会設置国保連合会事務局長合同会議

- ① 期日 令和8年2月20日(金)
- ② 会場 富士ソフトアキバプラザセミナールーム1、オンライン併用開催
- ③-1 国診協情勢報告
- ③-2 都道府県協議会活動報告(滋賀県・大分県)
- ③-3 講演 「国民健康保険制度と地域包括ケアシステム」
厚生労働省保険局国民健康保険課 課長 唐木 啓介 氏

(5) 正副会長打合せ会

- ① 開催回数 7回[外部会議室3回*オンライン併用開催2回、オンライン開催4回]
(令和7年5/23、6/20、7/30、9/5、10/2、令和8年1/16、2/20)
- ② 主要議事 国の動向等への対応及び組織・事業に関する重要事項等について

(6) 執行役員会

- ① 開催回数 4回[外部会議室2回*オンライン併用開催1回、オンライン開催2回]
(令和7年5/23、6/20、10/2、令和8年2/20)
- ② 主要議事 国の動向等への対応及び事業運営等について

(7) 監事会

- ① 期日 令和7年5月14日(水)[事務局会議室]
- ② 主要議事 令和6年度事業報告、収支予算補正及び決算について

3 国診協各委員会・打合せ会等開催状況

開設者委員会 2回[オンライン開催1回、和歌山城ホール会議室1回]
(令和7年6/20、10/3)

総務企画委員会 3回[オンライン開催]
(令和7年4/3、7/9、10/27)

若手の会(医科) 5回[オンライン開催](令和7年5/22、7/31、9/25、11/25、
令和8年2/3)

若手の会(歯科) 10回[オンライン開催](令和7年4/22、5/27、6/24、7/24、
8/26、9/16、10/30、11/25、12/23、令和8年2/19)

若手の会勉強会 2回[オンライン開催]

若手のつどい(医科) 11回[オンライン開催](令和7年4/23、5/28、6/27、
7/30、8/27、9/25、10/30、11/26、12/9、令和8年1/28、2/3)

若手のつどい（歯科） 6回 [オンライン開催]（令和7年4/22、6/24、8/26、10/30、12/23、令和8年2/19）

調査研究委員会 0回

広報情報委員会 4回 [オンライン開催]

（令和7年4/30、8/26、12/2、令和8年2/12）

地域医療・学術委員会 3回 [オンライン開催]

（令和7年7/17、7/31、令和8年2/10）

地域食支援部会 3回 [オンライン開催2回、外部会議室1回]

（令和7年4/10、10/3、令和8年3/5）

在宅医療・ケア部会 2回 [オンライン開催]

（令和7年6/19、10/28）

看護・介護部会 0回

リハビリテーション部会 4回 [オンライン開催3回、外部会議室1回]

（令和7年5/15、9/4、11/15、令和8年1/20）

リハビリ専門職仲間づくりミーティング 2回 [オンライン開催]

（国診協 リハビリテーション部会主催）（令和7年6/26、11/6）

歯科保健委員会 4回 [オンライン開催]（令和7年4/7、5/26、12/4、令和8年3/9）

ブロック歯科保健部会関係者会議 [外部会議室1回]（令和7年10/2）

診療所委員会 3回 [オンライン開催]（令和7年4/30、7/23、令和8年2/18）

診療所：研修医や学生たちの学びの会 7回 [オンライン開催]

（国診協 診療所委員会主催）（令和7年5/20、6/26、7/23、9/30、10/23、11/27、12/19）

施設経営委員会 10回 [オンライン開催]（令和7年4/15、5/20、6/17、7/15、9/9、

11/18、12/16、令和8年1/20、2/24、3/24）

調査調整プロジェクトチーム 2回 [オンライン開催]（令和7年9/11、11/4）

（国診協の各委員会・部会が行う調査関係について、会員施設の負担とならないよう調整を行うことを目的に、各委員会・部会から選抜された委員で構成）

ありたい姿プロジェクトコアチーム会議 2回 [オンライン開催]（令和7年5/28、10/21）

（国診協の10年後のありたい姿を検討し、会員向けに提案することを目的に、各委員会・部会等から選抜されたメンバーのコアとなるメンバーで構成）

優秀研究表彰審査委員会 2回 [オンライン開催]（令和8年1/29、3/11）

資産運営委員会（当年度は特に諮る案件なし）

調査研究事業倫理委員会（倫理審査の対象事業なし）

老人保健福祉調査研究会（受託事業親委員会・・当年度は特に諮る案件なし）

■他団体と連携した事業、委員会、打合せ会等

地域包括医療・ケア認定制度審査委員会 2回 [オンライン開催]

（令和7年8/29、令和8年2/13）

地域包括医療・ケア認定制度運営委員会 2回 [オンライン開催]

（令和7年9/18、令和8年3/17）

国診協・全自病協との打合せ会（定例） 2回 [オンライン開催]

（令和7年9/18、令和8年3/17）

医師臨床研修指導医講習会ディレクター会議 1回 [オンライン開催]
(令和8年2/6)

国診協・自治医科大学との懇談会(定例) 1回 [事務局会議室]
(令和8年3/13)

地域医療を守る病院協議会 [6団体] 1回 [オンライン開催]
(令和7年7/8)

*地方に多くの病院を有する5団体により平成29年9月28日に設立。その後6団体になり協議会の議長と事務局は持回り。

4 学会・研修会等の開催結果

(1)第65回全国国保地域医療学会 [和歌山県]

○期日 令和7年10月3日(金)・4日(土)

○テーマ 人口減少地域の生活を守る地域包括医療・ケア
～よみがえりの地 紀州・熊野から～

○学会会場 和歌山城ホール(和歌山市)

○参加者数 1,021名

① プログラム及び演者一覧

学会1日目:【和歌山城ホール】令和7年10月3日(金)9時30分から16時50分まで

特別講演	10:50~12:00「第2会場」	
演題	時と国を超えた善意の連鎖～エルトゥール号の悲劇から～	
講師	田中 光敏	「海難1890」の映画監督
司会者	高垣 有作	第65回全国国保地域医療学会会長 和歌山県:国保すさみ病院顧問

教育セミナー①	12:00~12:50「第1会場」	
演題	病気だけでなく人を診る医療	
講師	【教育者】廣西 昌也	和歌山県立医科大学紀北分院内科教授
	【実践者】内川 宗大	国保北山村診療所所長
司会者	柳岡 公彦	第65回全国国保地域医療学会副会長 和歌山県:国保野上厚生総合病院長

教育セミナー②	13:00~13:50「第1会場」	
演題	縮小していく地域の医療を守り抜くために ～新たな地域医療構想と赤十字グループの取り組み～	
講師	牧野 憲一	旭川赤十字病院特別顧問・名誉院長
司会者	海保 隆	全国国民健康保険診療施設協議会副会長 千葉県:国保直営総合病院君津中央病院名誉院長

教育セミナー③	14:00~14:50「第1会場」	
演題	医療・介護DXの推進のための基盤はマイナ保険証	

	～マイナ保険証を活用していますか～	
講師	植松 賢	国民健康保険中央会 保健福祉部医療保険情報提供等実施機関担当室長
司会者	池田 俊明	国民健康保険中央会常務理事

専門分科会① 13:20～14:50「第2会場」		
テーマ	人口減少、超高齢化社会で求められる地域医療のこれから	
発表者	木村 年秀	香川県：まんのう町国民健康保険造田歯科診療所長
	村山 謙治	長崎県：国民健康保険平戸市民病院リハビリテーション班長
司会者	村上 英之	国診協 地域医療・学術委員会委員長 北海道：足寄町国民健康保険病院長

国保直診開設者サミット 15:00～16:50「第1会場」		
テーマ	人口減少地域の生活を守る ～都市部の未来は今の地方にある～	
発言者	小川 裕康	和歌山県：紀美野町長
	岩田 勉	和歌山県：すさみ町長
	山下 昭史	香川県：三豊市長
	伊藤 一人	長野県：飯綱町立飯綱病院長
特別発言者	原 勝則	国民健康保険中央会理事長
助言者	唐木 啓介	厚生労働省保険局国民健康保険課長
司会者	今井 俊郎	全国国民健康保険診療施設協議会開設者委員会副委員長 岐阜県：東白川村長
	高垣 有作	第65回全国国保地域医療学会学会長 和歌山県：国保すさみ病院顧問

学会2日目：【和歌山城ホール】令和7年10月4日（土）9時から12時10分まで

シンポジウム 9:00～11:00「第1会場」		
テーマ	人口減少社会に対応する医療DX ～医療DXにより医療の均質性を高める～	
発言者	蒸野 寿紀	和歌山県立医科大学地域医療支援センター教授
	田島 幸治	和歌山県：国保野上厚生総合病院医師
	齋藤 祐太郎	医療法人鉄蕉会亀田総合病院リハビリテーション室
特別発言者	辻野 彰	長崎大学病院副病院長・脳神経内科教授
助言者	鈴木 潤	厚生労働省医政局参事官（医療情報担当）付医療情報基盤推進室 加工医療情報利活用専門官
司会者	平林 直樹	第65回全国国保地域医療学会副学会長 和歌山県：日高川町国保川上診療所長
	大原 昌樹	全国国民健康保険診療施設協議会副会長 香川県：綾川町国民健康保険陶病院長

専門分科会② 9:00～10:30「第2会場」		
テーマ	健康寿命延伸のための健口づくり ～健康は小児の健口から～	
発表者	熊谷 優志	岩手県：大船渡市国民健康保険歯科診療所長
	馬嶋 隆	岐阜県：関市国民健康保険板取診療所長
	北詰 典子	徳島県：国保上勝町診療所歯科衛生士
助言者	奥山 秀樹	国診協 歯科保健委員会アドバイザー 長野県：佐久市立国保浅間総合病院歯科口腔外科嘱託医師
司会者	占部 秀徳	国診協 歯科保健委員会委員長 広島県：公立みつぎ総合病院診療部長

専門分科会③ 9:00～10:00「第5会場」		
テーマ	よみがえりの地で見つける医療の形 ～地域が育む卒前卒後教育～	
発表者	山本 明日美	和歌山県立医科大学医学部 6年
	西原 尚子	和歌山県立医科大学医学部 5年
	新野 保路	福井県：南越前町国民健康保険今庄診療所医師
	河合 皓太	富山県：かみいち総合病院内科 富山大学附属病院 上市・地域医療支援学講座客員准教授
司会者	今江 章宏	国診協 若手の会世話人会世話人 北海道：寿都町立寿都診療所長
	宇佐美 哲郎	国診協 若手の会世話人会代表 大阪府：能勢町国民健康保険診療所長

専門分科会④ 10:00～10:30「第5会場」		
テーマ	施設経営委員会報告 令和8年度診療報酬改定に向けた厚生労働省への要望事項の分析報告 ならびに令和6年度国民健康保険診療施設の経営状況報告	
発表者	藤森 勝也	国診協 施設経営委員会委員長 新潟県：あがの市民病院長

会員宿題報告 11:10～11:40「第1会場」		
演題	地方で生きる・明るい未来を目指して	
報告者	松木 克之	第66回全国国保地域医療学会長 愛媛県：国民健康保険久万高原町立病院長
司会者	中村 伸一	全国国民健康保険診療施設協議会副会長 福井県：おおい町国民健康保険名田庄診療所長

②地域医療交流会

- ・令和7年10月3日（金） 17時30分から19時30分まで
- ・ダイワロイネットホテル和歌山

③その他

国診協コーナーの設置

「国診協コーナー」、「若手の会カフェ（医科）」、「若手の会カフェ（歯科）」、「リハビリテーション部会」

(2) 第39回地域医療現地研究会 [島根県松江市、雲南市]

○期 日 令和7年5月30日（金）・31日（土）[開催方法：参集]

○テーマ 神話と歴史のふるさとで地域包括医療・ケアを語る
～人口減少社会への挑戦 地域共生社会の実現を目指して～

○会 場 雲南市立病院、雲南市立病院附属掛合診療所、鍋山交流センター、ホテル一畑

○参加者数 184名

第39回地域医療現地研究会日程

第1日目 令和7年5月30日（金）

時 間	内 容
9:00	受 付
10:00	開講式 <ホテル一畑 2階「平安の間」>
10:30	施設視察研修（3班編成でバス移動） 雲南市立病院 雲南市立病院附属掛合診療所 鍋山交流センター
12:00頃	班ごとに昼食 (雲南市立病院、雲南市立病院附属掛合診療所、鍋山交流センター)
17:00	視察研修終了（バス移動）
18:15	地域医療交流会 <ホテル一畑 2階「平安の間」>
20:15	交流会終了

第2日目 令和7年5月31日（土）

時 間	内 容
9:00	全体討議 <ホテル一畑 2階「平安の間」> テーマ 神話と歴史のふるさとで地域包括医療・ケアを語る ～人口減少社会への挑戦 地域共生社会の実現を目指して～ 【座長】島根県全国健康保険診療施設協議会 会長 大谷 順 (島根県雲南市病院事業管理者) 【発表者】雲南市立病院 院長 西 英明 町立奥出雲病院 院長 鈴木 賢二 飯南町立飯南病院 院長 角田 耕紀 平成記念病院 院長 陶山 紳一朗 【助言者】厚生労働省保険局国民健康保険課 課長 唐木 啓介 全国国民健康保険診療施設協議会 副会長 大原 昌樹 島根県雲南保健所 所長 柳楽 真佐美
11:00	閉講式 <ホテル一畑 2階「平安の間」>
11:15	解散

(3) 地域包括医療・ケア研修会

- 期日 令和8年1月16日(金)・17日(土) [ハイブリッド開催]
- メインテーマ 「経営危機の医療機関と持続可能な地域包括医療・ケアの新たな構築」
～“ピンチをチャンスに”、“消えない医療”のため国保直診のありたい姿を目指して～
- 会場 富士ソフト アキバプラザ(東京都千代田区神田練堀町3 富士ソフト秋葉原ビル5F)
*オンライン併用開催
- 参加者数 96名(会場57名、WEB39名)

地域包括医療・ケア研修会の日程

第1日目 令和8年1月16日(金)

時 間	【第1日】 — 1月16日(金) —
13:15～ 13:25	○開講式 主催者挨拶 小野 剛(公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会会長) 池田 俊明(公益社団法人国民健康保険中央会常務理事)
13:25～13:30	*舞台転換
13:30～ 14:40	○講演〔I〕 演題:「国民健康保険制度と地域包括ケアシステム ～直近の改正事項を中心に～」 講師:唐木 啓介(厚生労働省保険局国民健康保険課長) 司会:大原 昌樹(国診協副会長/香川県:綾川町国民健康保険陶病院長)
14:40～14:50	*休憩・移動
14:50～ 16:50	○「国保直診ありたい姿」グループワーク テーマ:「地域医療のありたい姿を語り合おう」 基調講演:小野 剛(公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会会長) グループワーク/発表/講評 司会:武田 以知郎(奈良県・明日香村国民健康保険診療所管理者)
16:50～17:00	*休憩・移動
17:00～ 18:10	○講演〔II〕 演題:「医療提供の戦略的縮小と効率化-千葉の事例で考える-」 講師:吉村 健佑(千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センター長) 司会:柳澤 真司(国診協 地域医療・学術委員会委員/千葉県:国保直営 総合病院君津中央病院長)
18:10～18:30	*休憩・移動 *オンライン参加の方は、ここで1日目終了となります。
18:30～ 20:00	○地域医療交流会 話題:「人生のピンチをチャンスに! 体験談を語り合おう」 司会:萩野 正樹(国診協 地域医療・学術委員会委員/福井県:南越前町 国民健康保険今庄診療所長) 田辺 大起(国診協 地域医療・学術委員会委員/鳥取県:日南町国民 健康保険日南病院リハビリテーション科長)

第2日 令和8年1月17日(土)

時 間	【第2日】 — 1月17日(土) —
9:00～10:40	○パネルディスカッション〔I〕 演題:経営危機の医療機関と持続可能な地域包括医療・ケアの新たな構築

	<p>～“ピンチをチャンスに”、“消えない医療”のため国保直診の ありたい姿を目指して～</p> <p>発表者：鈴木 賢二（島根県：町立奥出雲病院長） 発表者：千葉 義幸（兵庫県：ちば内科・脳神経内科クリニック院長） 発表者：澤田 弘一（岡山県：鏡野町国民健康保険上齋原歯科診療所長）</p> <p>ディスカッション</p> <p>講評：大原 昌樹（国診協副会長／香川県：綾川町国民健康保険陶病院長） 司会：村上 英之（国診協 地域医療・学術委員会委員長／北海道：足寄町 国民健康保険病院長）</p>
10:40～10:50	*休憩 *舞台転換
10:50～ 12:00	<p>○講演〔Ⅲ〕</p> <p>演題：「離島地域における医療・介護の撤退戦略 ～人口減少に伴って生じる医療・介護の課題と対応～」</p> <p>講師：八坂 貴宏（長崎県対馬病院長） 司会：海保 隆（国診協副会長／千葉県：国保直営総合病院君津中央病院 名誉院長）</p>
12:00～12:30	○昼食
12:30～ 13:40	<p>○講演〔Ⅳ〕</p> <p>演題：「総合診療科と整形外科の共同診療が病院経営に及ぼす影響 -地域に最適化した病院経営の実装-</p> <p>講師：西島 聡志（兵庫県：野瀬病院事務長） 司会：伊藤 一人（国診協 地域医療・学術委員会委員／長野県：飯綱町立 飯綱病院長）</p>
13:40～13:50	*休憩 *舞台転換
13:50～ 15:30	<p>○パネルディスカッション〔Ⅱ〕</p> <p>演題：「診療所が面白い～オンリーワンの○○○○」</p> <p>発表者：佐藤 克哉（北海道：猿払村国民健康保険診療所長） 発表者：内川 宗大（和歌山県：国保北山村診療所長） 発表者：畑 綾（兵庫県：宝塚市国民健康保険診療所歯科）</p> <p>ディスカッション</p> <p>講評：中村 伸一（国診協副会長／福井県：おおい町国民健康保険名田庄診 療所長） 司会：和田 智子（国診協 診療所委員会委員長／秋田県：にかほ市国民健 康保険小出診療所長）</p>
15:30～ 15:40	<p>○閉講式</p> <p>閉会挨拶 海保 隆（国診協副会長）</p>

(4) 国保直診口腔保健研修会

（国診協 歯科保健委員会主催）

○期日 令和7年10月2日(木)17:30～

○メインテーマ 明日からの保健指導に活かす！

～保健指導の勘所と歯科保健センターでの実際～

- 会場 和歌山県・ダイワロイネットホテル和歌山 4階「プレジール」、「ブリエ」
- 参加者 46名

国保直診口腔保健研修会の日程

17:00～	○受付 ※開場 17:00
17:30～ 17:35	○開会 挨拶 小野 剛 全国国民健康保険診療施設協議会会長
17:35～ 19:40	○講演1 (30分 : 17:35～18:05) /うち質疑10分程度 「多職種に知って欲しい歯科保健センターでの歯科衛生士の臨床と研究」 講師 澤田 弘一 国診協常務理事・歯科保健委員会副委員長 岡山県：鏡野町国民健康保険上齋原歯科診療所長 ○講演2 (90分 : 18:10～19:40) /うち質疑10分程度 「行動変容を促す歯科保健指導の戦略 ～ナッジ理論や多職種での取り組みも踏まえて～」 講師 伊藤 瑠美 青森県立保健大学客員研究員 弘前医療福祉大学短期大学部口腔衛生学科准教授 司会 後藤 拓朗 国診協歯科保健委員会委員 香川県・三豊総合病院歯科保健センター医長
19:40～ 19:45	○閉会 挨拶 占部 秀徳 国診協歯科保健委員会委員長

○情報交換会						
20:00～ 21:30	○情報交換会 開会挨拶 占部 秀徳 国診協歯科保健委員会委員長 乾杯(挨拶) 後藤 拓朗 国診協歯科保健委員会委員 (企画担当) 閉会挨拶 澤田 弘一 国診協常務理事・ 歯科保健委員会副委員長					
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">歯科衛生士 意見交換会</th> </tr> <tr> <td colspan="2">国保直診に勤務する歯科衛生士間の情報交換(地域歯科保健の推進等)・交流(モチベーションの維持・向上等)の場として企画しています。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">*現在、国保直診歯科衛生士会の立上げ準備中です。ぜひ、この機会に、歯科保健の推進を考える者同志で繋がりましょう。</td> </tr> </table>	歯科衛生士 意見交換会		国保直診に勤務する歯科衛生士間の情報交換(地域歯科保健の推進等)・交流(モチベーションの維持・向上等)の場として企画しています。		*現在、国保直診歯科衛生士会の立上げ準備中です。ぜひ、この機会に、歯科保健の推進を考える者同志で繋がりましょう。
歯科衛生士 意見交換会						
国保直診に勤務する歯科衛生士間の情報交換(地域歯科保健の推進等)・交流(モチベーションの維持・向上等)の場として企画しています。						
*現在、国保直診歯科衛生士会の立上げ準備中です。ぜひ、この機会に、歯科保健の推進を考える者同志で繋がりましょう。						

- (5) 海外保健・医療・介護・福祉視察研修
(諸般の事情を考慮し、当分の間実施を見合わせる。)
- (6) リハビリ専門職の人材育成に係る研修会
(国診協 地域医療・学術委員会リハビリテーション部会主催)
期日 令和7年11月14日(金)13:00～11月15日(土)12:00
会場 富山県上市町・かみいち総合病院
- (7) 多職種研修コーディネーター研修会(3回開催、中止1回)
 - i 期日 令和7年11月7日(土)10:00～17:00
 - 場所 大阪府大阪市・KITENA 新大阪

- ii 期日 令和7年11月21日(金)10:00~17:00
場所 東京都千代田区・ビジョンセンター新橋
- iii 期日 令和7年11月22日(土)10:00~17:00
場所 東京都千代田区・ビジョンセンター新橋

(8) 国保直診歯科関係者研修会

(国診協 歯科保健委員会主催)

期日 令和7年4月12日(土) 13:00-17:00

会場 オンライン開催

(9) 国保直診における事業継続計画 (BCP) セミナー

期日 令和7年10月31日(金)

会場 オンライン開催

講師 山岸暁美氏 (慶応義塾大学医学部衛生学教室講師、一般社団法人コミュニティヘルス研究機構機構長・理事長)

古屋聡氏 (山梨市立牧丘病院 整形外科・訪問診療医師)

5 地域包括医療・ケア認定制度の認定 (全自病協との共同事業。年2回新規・更新認定)

令和7年度 認定施設 3 施設 (累計 280 施設)

認定医師 32 人 (累計 716 人: 医師 695 人、歯科医師 21 人)

認定専門職 0 人 (累計 353 人)

6 医師臨床研修指導医講習会 (全自病協との共同事業)

令和7年度は、6回(東京会場2回、大阪会場2回、オンライン開催2回)開催した。

7 調査研究事業等

(1) 令和7年度老人保健健康増進等事業【厚生労働省】

事業実施件数 1 事業 実施主体: 公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会

事業名	中山間地域等における日常生活圏域単位での地域包括ケアシステムと地域づくりの総合的な推進のための調査研究事業
事業概要	<p>本調査研究事業では、中山間地域等における日常生活圏単位でのサービスの提供体制やニーズ、地域づくりの状況等を調査し、先行事例や内容の分析、方法論の整理等を通じて、地域包括ケアシステムや地域づくりを総合的に行う、発展的なモデルを明らかにした。</p> <p>また、これらの成果を報告会(セミナー)の開催等で発信することで関係者の意識啓発等を行うことを目的とした。</p>

調査方法	<p>*調査対象地域：中国四国厚生局管内</p> <p>(1) ヒアリング調査</p> <p>中山間地域等における人口減少等の課題を踏まえ、医療介護や地域づくり等について総合的な取組を実施（計画中を含む）している地方自治体における取組とその考え方（経緯を含む）、今後の方針、実施体制等を聞き取り、今後のモデルを得るものとした。その際、中山間地域等においては人口減少に伴ってサービス需要の減少や人手不足も相まって日常生活圏域単位でのサービスの維持も困難となっていく状況も見込まれることから、広域化等による提供体制の確保や交通手段の確保、地域住民の参画等の取組状況や今後の課題、展望等についても把握した。</p> <p>対象：6自治体：鳥取県・智頭町／島根県・雲南市／岡山県・新見市／広島県・竹原市・北広島町／山口県・周防大島町</p> <p>(2) 報告会（セミナー）</p> <p>本研究の成果をまとめ、「中山間地域等における日常生活圏域単位での地域包括ケアシステムと地域づくりの総合的な推進のための報告会」（セミナー）にて内容を発表した。本セミナーでは、ヒアリング調査で収集した中から2自治体の取組事例の紹介と併せて、これらの自治体職員と検討委員会の委員を交えたパネルディスカッションを行い、議論を深めた。</p>
担当（厚労省）	厚生労働省中国四国厚生局（地域包括ケア推進課）
委員会名	中山間地域等における日常生活圏域単位での地域包括ケアシステムと地域づくりの総合的な推進に関する検討委員会
委員長	尾島俊之（浜松医科大学健康社会医学講座教授）
委員構成・会議開催数	委員会委員8名、国診協研究支援員4名 計12名 オブザーバー（中国厚生局管内の5県担当者） 会議開催数 委員会4回、調整会議2回、事前検討会1回 計7回 他 報告会（セミナー）1回
調査協力機関	みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社
成果物	報告書（3,000部）
その他	報告会（セミナー）の映像公開（中国四国厚生局）

※新規事業

(2) 令和7年度社会福祉振興助成事業 【独立行政法人福祉医療機構】

事業実施件数 1事業 実施主体：公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会

事業名	人間と動物の医療福祉を豊かにするための研修事業
事業概要	<p>本事業は、地域包括ケアシステムにおいて構成される市町村、地域包括支援センター、医療・介護施設をはじめ保健・医療・介護・福祉の専門職と動物愛護関係者の間で高齢者等のペット飼育に関する効果や課題を共有し相互理解を醸成すること、これに加えて、支援者の対応力の向上と高齢者等の健康やQOLの向上に資することを目的に、連携団体を中心に地域内の多職種で実行委員会を結成し、地域の動物愛護関係者と保健・医療・介護・福祉の専門職が多職種でペット飼育の効果や課題を共有し相互理解を深めるための研修会を行う事業である。</p>

活動地域	<p>連携団体（モデル活動地域） ＊事業申請時に事前指定</p> <p>①三戸町国保三戸中央病院（青森県・三戸町）</p> <p>②浜松市国民健康保険佐久間病院（静岡県・浜松市天竜区）</p> <p>③かみいち総合病院（富山県・上市町）</p> <p>④県北西部地域医療センター国保白鳥病院（岐阜県・郡上市）</p> <p>⑤日南町国民健康保険日南病院（鳥取県・日南町）</p> <p>⑥飯南町立飯南病院（島根県・飯南町）</p> <p>⑦三豊総合病院（香川県・観音寺市）</p> <p>⑧姫島村国民健康保険診療所（大分県・姫島村）</p>
実施内容	<p>1. 委員会の設置</p> <p>地域の実情に合わせたある程度柔軟で全国的に展開しうる効果的な研修内容を検討し運営方法を含めた基本プログラムを作成する。また、事業全体の企画・管理と各事業実施地域との連絡・情報共有を行う場とした。</p> <p>2. 事業実施地域での実行チームの構築と現状把握（＊連携団体）</p> <p>各連携団体の地域における行政（県・市町村）、社会福祉協議会（県・市町村）、動物愛護団体等の状況を把握し協力要請など準備を進め運営体制を整える。なお、各地域の状況は「企画委員会」に集約し、研修会の企画運営を検討する際の資料とした。</p> <p>3. 研修会教材と手引書の作成と実務者研修会の開催</p> <p>企画委員会で開発した研修プログラム及び教材を活用して、各連携団体の実務者に向けた研修を行った。</p> <p>4. 人間と動物の医療福祉を豊かにするための研修会の開催（＊連携団体）</p> <p>地域の実情に合わせた研修内容で研修会を開催し、関係者間の相互理解とネットワークをつくった。</p> <p>5. 報告書作成・広報活動</p> <p>本モデル活動の取り組みの情報提供と、横展開による本事業の普及推進を図る。また、次年度（2か年目の事業）の実施に向け広報活動を積極的に行うこととしている。</p>
担当	独立行政法人福祉医療機構 NPO リソースセンター
委員会名	人間と動物の医療福祉を豊かにするための検討委員会
委員長	三枝智宏（国診協常務理事・調査研究委員会委員長／静岡県・浜松市国民健康保険佐久間病院長）
委員構成・会議開催数	委員会委員 10 名、アドバイザー 2 名 計 12 名 （+担当副会長 1 名） 会議開催予定数 委員会 8 回、調整会議等 3 回 計 11 回 他 実務者研修会 1 回
調査実施機関	全国国民健康保険診療施設協議会事務局
成果物	活動報告書（3,100 部）
その他	

※2か年計画（＊応募時2か年継続申請の初年度事業）

(3) 令和7年度勇美記念財団助成事業 【勇美記念財団】
事業実施件数 0 事業

8 表彰

(1) 地域包括ケアシステム推進功績者・国診協事業推進功績者表彰

地域包括ケアシステム推進功績者 54 名（医師 29 名、歯科医師 2 名、事務長 6 名、コメディカル 17 名）、及び国診協事業推進功績者 1 名（医師 1 名）を表彰した。

(2) 全国国保地域医療学会優秀研究表彰

最優秀 1 点（演題名：心不全患者に対する多職種による包括的介入が再入院率を低下させた：熊本県・上天草市立上天草総合病院 脇田 富雄 氏）及び優秀 5 点を表彰した。

9 国診協都道府県協議会等に対する支援

(1) 都道府県協議会振興費の交付

(2) 都道府県協議会等開催の国保地域医療学会等に対する助成

(3) ブロック協議会会議開催に対する助成

10 広報・情報提供の推進

(1) 「地域医療」誌発行 第 63 巻第 1 号～第 63 巻第 4 号

(2) 「地域医療」特別号（第 65 回全国学会〔和歌山県〕）

11 医師確保対策事業

自治体病院・診療所医師求人求職支援センターの運営支援

12 国診協 会長・副会長等の関係省庁・団体等における活動

(1) 副会長の分担

海保副会長／総務企画委員会、地域医療・学術委員会（4 部会含む）、歯科保健委員会
大原副会長／調査研究委員会、施設経営委員会
中村副会長／広報情報委員会、診療所委員会

(2) 押淵顧問（前会長）

会長アドバイザー（会長が必要と思われる際にアドバイスをを行う。）

(3) 厚労省、関連団体等の担当

職 名	役員名
<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省 今後の医師養成の在り方と地域医療に関する検討会委員 ・厚生労働省 独立行政法人評価に関する有識者会議地域医療機能推進WG ・一般社団法人「日本地域医療学会」（初代）理事長 ・NPO法人卒後臨床研修評価機構 ・地域医療を守る病院協議会 ・広がれボランティアの輪連絡会議 ・総合医育成リカレント教育事業 連絡協議会 	<p>会長 小野 剛</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・日本在宅ケアアライアンス会議（在宅医療助成 勇美記念財団） ・地域医療を守る病院協議会 	<p>副会長 海保 隆</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・日本専門医機構（総合診療専門医制度構築関連）総合診療専門医検討委員会委員・総合診療在り方検討WG 部会委員 ・独立行政法人福祉医療機構助成事業評価委員 ・一般社団法人「日本地域医療学会」副理事長 同学会「専門医制度委員会」委員長 ・全国自治体病院協議会理事（国診協代表） ・地域医療を守る病院協議会 	<p>副会長 大原昌樹</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・病院総合医養成委員会（日病・全自病協・国診協 三団体共同事業） 	
<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人「日本地域医療学会」理事 同学会「専門医制度委員会」委員 ・地域医療を守る病院協議会 	副会長 中村伸一
<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人「日本地域医療学会」理事 	参与 野村英樹